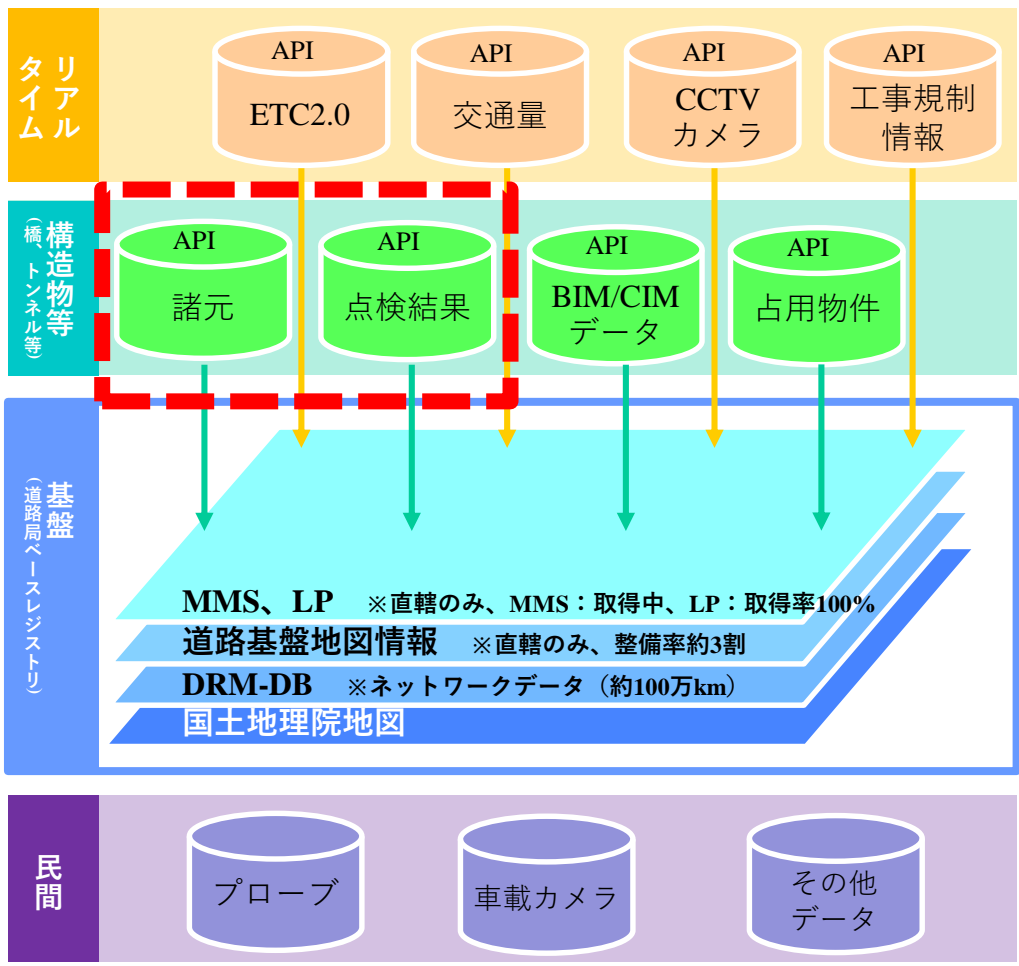


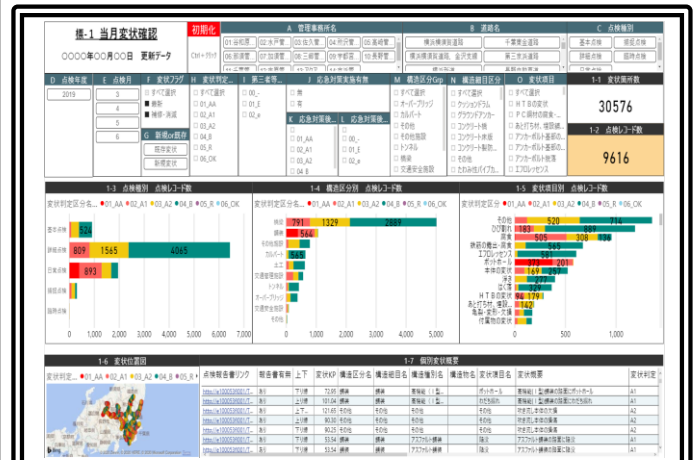
# 全国道路施設点検データベースの現状と今後

○ 道路に関連する様々なデータを共通の基盤に紐づけたプラットフォームを構築し、データ利活用による維持管理の高度化、一部データ公開による民間利活用・技術開発等を促進。

## 道路データプラットフォーム



## 道路管理アプリケーション



イメージ (NEXCO東日本 SMH)

その他  
○ヒヤリハットマップ ○通れるマップ など

高品質な道路管理アプリケーションは積極的に採用

## 民間開発アプリケーション

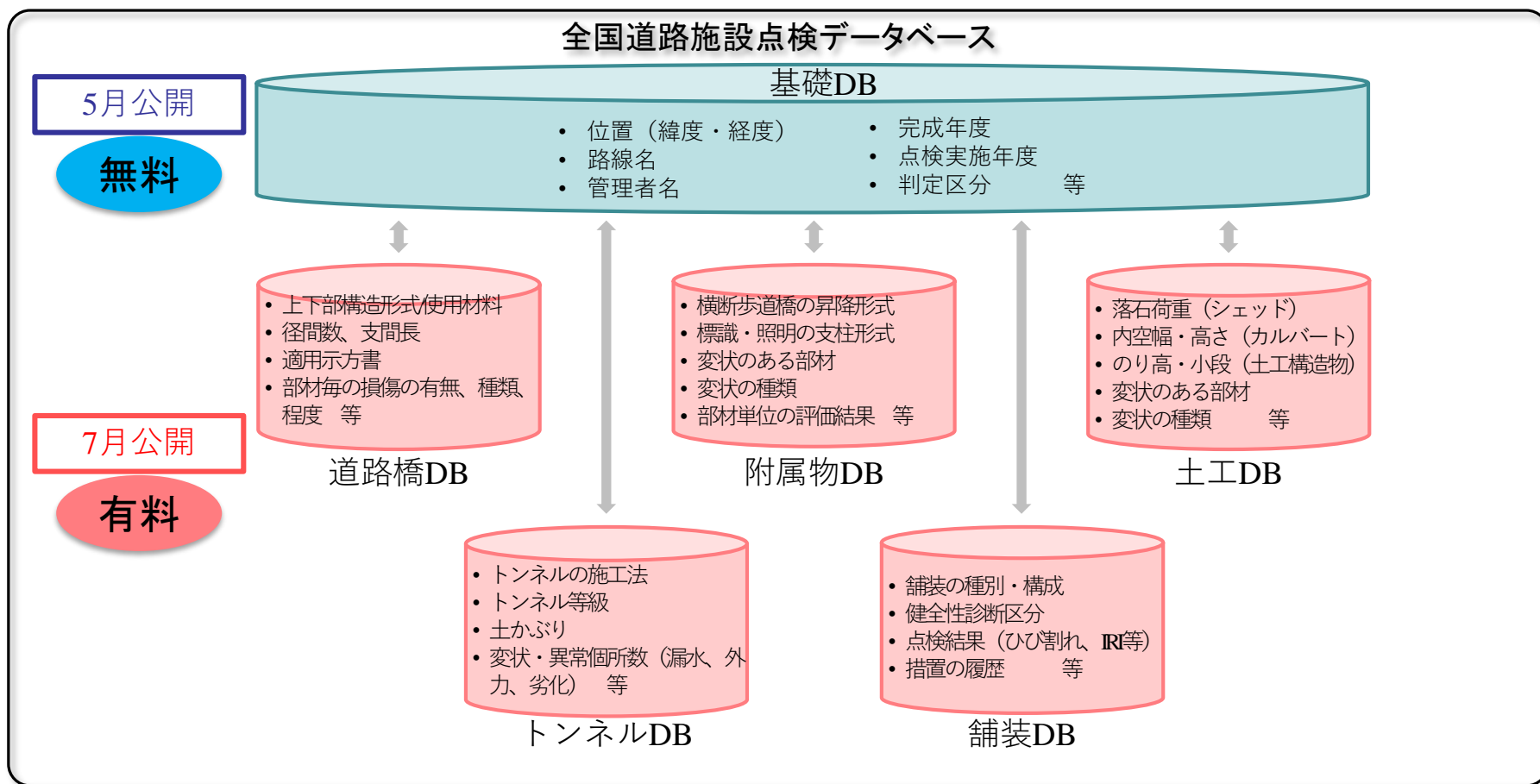
道路管理以外にも、マーケティングや自動運転等、民間分野も含めて広範な活用を視野

リクエスト

データ

# 全国道路施設点検データベースの概要

- 道路施設の定期点検は2巡目に入り、道路管理者毎に様々な仕様で膨大な点検・診断のデータが蓄積
- その様なデータを一元的に活用できる環境を構築：全国道路施設点検データベース
- 全国道路施設点検データベースは、基礎的なデータを格納する基礎DB及び道路施設毎のより詳細なデータを格納するデータベース群（詳細DB）で構成
- 基礎DBは5月に、詳細DBは7月に公開開始：webブラウザからの閲覧等が可能。加えてAPI（Application Programming Interface）を公開



## 橋梁

73万橋 200項目

国管理

3.8万橋 1,400項目

## トンネル

1.1万本 100項目

国管理

0.2万本 300項目

## 舗装

国管理

4.6万km<sup>※1</sup> 130項目

## 横断歩道橋

1.2万橋 130項目

国管理

0.2万橋 1,300項目

## 大型カルバート

0.8万施設 30項目

国管理

0.25万施設 100項目

詳細DB	施設	閲覧・取得可能データ（7月有料公開範囲）	
		対象	データ項目
道路橋	橋梁	全道路管理者の 約73万橋	<b>詳細データ約200項目</b> ：構造諸元（代表値）、点検結果、耐震補強状況等
		国交省管理の 約3.8万橋	<b>詳細データ計約1,400項目</b> ：上記に加え構造諸元（構造体毎）、構造・材料種別点検結果（要素・部材単位を含む）、点検・補強履歴等
トンネル	トンネル	全道路管理者の 約1.1万本	<b>詳細データ約100項目</b> ：施工法、変状・異常個所数（漏水、外力、材質劣化）等
		国交省管理の 0.2万本	<b>詳細データ計約300項目</b> ：上記に加え諸元（トンネル等級、土かぶり等）、非常用施設諸元、診断結果等
附属物	横断 歩道橋	全道路管理者の 約1.2万施設	<b>詳細データ約130項目</b> ：構造諸元（代表値）、点検結果、橋下の管理者等
		国交省管理の 約0.2万施設	<b>詳細データ計約1,300項目</b> ：上記に加え構造諸元（構造・材料種別等）、変状のある部材、変状の種類、部材単位の評価結果等
	門型 標識等	全道路管理者の 約1.7万施設	<b>詳細データ約50項目</b> ：構造諸元（代表値）、点検結果、施設設置場所等
		国交省管理の 約0.4万施設	<b>詳細データ計約400項目</b> ：上記に加え構造諸元（標識表示内容等）、変状のある部材、変状の種類、部材単位の評価結果等
標識・情報板	国交省管理の 約32万施設	<b>詳細データ計約300項目</b> ：構造諸元（標識表示内容等）、補修内容、補修履歴等	
	照明	国交省管理の 約28万施設	<b>詳細データ計約200項目</b> ：構造諸元（灯具の種類等）、補修内容、補修履歴等
舗装	舗装	国交省管理の 約4.6km <sup>*1</sup>	<b>詳細データ約130項目</b> ：舗装の種別・構成、健全性診断区分、点検結果（ひび割れ、IRI等）、措置の履歴等
土工	シェッド	全道路管理者の 約0.3万施設	<b>詳細データ約30項目</b> ：内空断面、上部・下部構造、点検結果の判定区分（代表値）、所見等
		国交省管理の 約750施設	<b>詳細データ計約200項目</b> ：上記に加え設計条件（落石荷重等）、変状のある部材、変状の種類等
	大型 カルバート	全道路管理者の 約0.8万施設	<b>詳細データ約30項目</b> ：内空施設、構造形式、使用材料、点検結果の判定区分（代表値）、所見等
国交省管理の 約2,500施設		<b>詳細データ計約100項目</b> ：上記に加え内空幅・高さ、変状のある部材、変状の種類等	
	特定 土工	国交省管理の 約1.8万箇所	<b>詳細データ約200項目</b> ：のり高・代表勾配・小段数、主な構成施設、変状の種類等

※1：上下線別の数字



## 全国道路施設点検データベース

ユーザーID :

パスワード :

データ利用に関する利用規約に同意します。

ログイン

データベースの利用、公開用APIの利用をご希望の方、及び新着情報の確認は  
全国道路施設点検データベースのご案内ページをご覧ください

無償公開データの閲覧については、全国道路施設点検データベース～損傷マップ～をご利用ください。

本サイトの「偽サイト」にはご注意ください。  
(正) <https://road-structures-db.mlit.go.jp/>

ユーザー登録はこちらへ  
サンプルデータ、料金、APIの仕様等  
についてもこちらからご確認を

無料分はこちら

© 2022 日本みち研究所

<https://road-structures-db.mlit.go.jp/>



## 全国道路施設点検データベース

DB選択画面

作業対象の施設ボタンをクリックして下さい。

施設を選択

基礎情報

道路橋

舗装

トンネル

シェッド(土工)

特定道路土工構造物(土工)

大型カルバート(土工)

防災(土工)

横断歩道橋(附属物)

標識(附属物)

門型標識等(附属物)

照明(附属物)

### お知らせ

#### ■夏季休業のお知らせ

2022年8月12日(金)~8月17日(水)までを夏季休業期間とさせていただきます。

期間中のお申し込み・お問い合わせ等につきましては返信が遅くなる場合がございますので何卒ご了承くださいませようお願いいたします。

#### ■【道路附属物DB】道路施設基本データに関するお知らせ

道路施設基本データでは、下記の項目に対応いたしました。

- ・全地方整備局の令和3年度末時点の道路施設基本データの登録が完了
- ・道路施設台帳の様式出力機能の利用開始



# 橋梁のサンプルデータ(日本橋)



橋梁名: 日本橋  
 施設ID: BR0-837010-00008  
 路線: 国道1号  
 橋長: 49.1m  
 架設年度: 1911  
 判定区分: I

## 諸元と総合検査結果

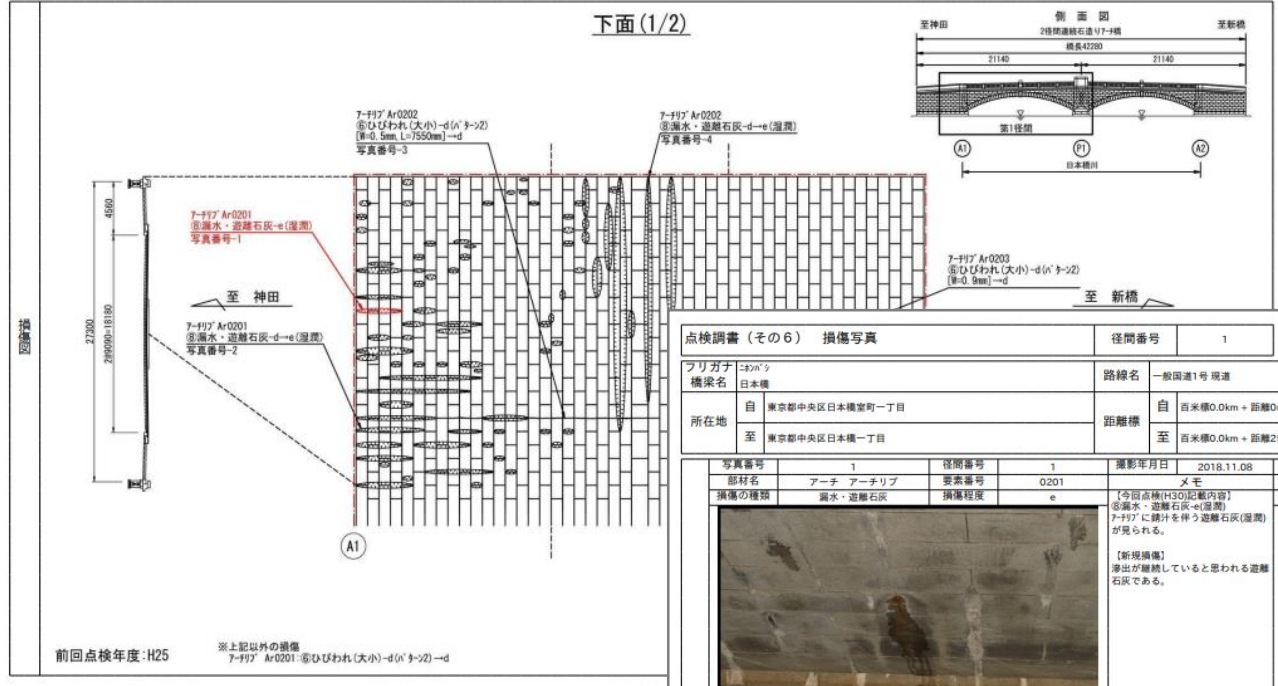
点検調査 (その1) 橋梁の諸元と総合検査結果										起点側	緯度	35.68424	経度	139.77452	終点側	緯度	35.68384	経度	139.77445	橋梁ID	35.68424, 139.77452					
フリガナ 橋梁名	日本橋		路線名	一般国道1号 現道		管轄	関東地方整備局		橋梁コード	0105																
所在地	自	東京府中央区日本橋壹丁目	距離標	自	100m	至	東京府中央区日本橋一丁目	距離標	自	100m	至	東京府中央区日本橋一丁目	調査更新年月日	2019年03月31日												
供用開始日	1911年04月01日		橋長	49.09m		活荷重・等級	その他 1等橋		適用示方書	その他																
上部構造形式	2径間連続石造アーチ橋 (その他)		橋員	全幅員	28.30m	有効幅員	27.30m	地覆橋	4.99m	歩道橋	4.99m	車道橋・車線	3	車道幅・車線	3	歩道幅	4.99m	地覆橋	0.50m	中央帯	0.00m	中央分層等	0.00m	調査年	2015年	
下部構造形式	重力式橋台2基, その他 (橋脚)		備考	点検会社 (茂建インテック)、首都高技術設計共同 点検方法 (点検車1, 2径間, 梯子 (第1, 2径間)) 近接不可観測箇所 支障物件 (無) 関係協議先 (中央区警察, 中央区, 屋形船東京部共同組合, 東京都公園協会, 名橋「日本橋」保存会) 検査記録 防水工事 橋上歩行者防衛柵設置 (全径間 (日本橋川)) 補修履歴 (1973年3月 下部工その他, 1986年3月 橋面補修 (車道部敷石再設置), 1997年3月 装飾物 (照明柱および元欄柱) 修復, 2005年3月 橋脚補修, 2010年12月 橋面防水工, 側面補修 その他 (無)																						
基礎形式	直接基礎2基, 木くい		交通条件	調査年	2015年		交通量	21,571台		大型混入率	15.6%		荷重制限													
健全度 (橋単位)	I		<p>本橋は供用後107年経過した「2径間連続石造アーチ橋 (その他)」である。</p> <p>【健全度】                  ○I: 健全: 道路橋の機能に支障が生じる変状は見られない。</p> <p>【判定区分】                  E1: E2: 緊急対応の必要がある損傷 ○なし                  C2: 橋梁構造の安全上の観点から、速やかに補修する必要がある損傷 ○なし                  C1: 予防保全の観点から、速やかに補修する必要がある損傷 ○なし                  S1: 詳細調査の必要がある損傷 ○なし                  S2: 診断調査の必要がある損傷 ○なし                  M: 維持工事で対応する必要がある損傷                  ○その他 (養生の要否): 橋台その他(A2), 袖壁(第2径間) → 養生の除去</p> <p>B: 状況に応じて補修する必要がある損傷                  ○ひびわれ: アーチ アーチリブ(第1・2径間), 柱部・壁部(P1), 橋脚その他(P1), 壁壁(A2), 橋台その他(A1), 高欄(第2径間), 袖壁(第1・2径間)                  ○剥離・鉄筋露出: アーチ アーチリブ(第1・2径間), 橋脚その他(P1), 高欄(第2径間), 地覆(第1・2径間)                  ○腐食・遊離石灰: アーチ アーチリブ(第1・2径間), 橋脚その他(P1), 壁壁(A1・A2), 地覆(第1径間)                  ○うき: アーチ アーチリブ(第2径間), 橋脚その他(P1), 橋台その他(A1), 高欄(第1・2径間), 地覆(第1径間)                  ○路面の凹凸: 舗装(第1・2径間)                  ○その他: 高欄(第1・2径間)                  ○変形・欠損: アーチ アーチリブ(第1・2径間), 柱部・壁部(P1), 橋台その他(A2), 高欄(第1径間), 地覆(第1径間), 緑石(第1径間)</p> <p>【維持管理上の問題点、留意事項】                  ○重要文化財に指定されている橋梁である。平成17年~20年にかけて「日本橋の保存と管理に関する検討委員会」にて健全性評価、補修・補強の必要性、今後の維持管理手法のあり方等についての調査・検討が実施されている。                  ○上記委員会以降、委員会で提案に従い、定期点検に合わせて基礎の標高、アーチライズ、支間長、路面高さ等の詳細調査が実施されており、今回で3回目の調査となる。今回の調査結果は、過去2回(調査期間10年)の結果と比較して、いずれの判定結果においても顕著な変化は見られなかったことから、懸念された基礎の沈下、移動については現状まで大きな変化が見られないことが判明した。                  ○その他の主要な橋脚項目についても、上記の委員会等調査や道路調査結果を踏まえた確認をこなしたが、前回点検から橋脚状況に大きな変化は見られないことから、橋梁の健全度をIとした。                  ○ただし、100余年が経過して石材表面の風化(表面の薄層の剥がれ)も見られ、ひびわれ、剥離(欠損)なども、前回点検から若干の増大、新たな発生箇所も見られることから、引き続き委員会委員等に付詳細調査を実施し、全体挙動の推移と合わせて確認する必要がある。</p>																							



# 橋梁のサンプルデータ(日本橋)

## 損傷図

点検調査(その5) 損傷図		径間番号	1	起点側	緯度 35.68424 経度 139.77452	終点側	緯度 35.68384 経度 139.77445	橋梁 I D	35.68424,139.77452
フリガナ 橋梁名	日本橋	路線名	一般国道1号 環道	管轄	関東地方整備局	橋梁コード	0105		
所在地	自 東京都中央区日本橋室町一丁目 至 東京都中央区日本橋一丁目	距離標	自 百米標0.0km + 距離0m 至 百米標0.0km + 距離25m	管轄	東京国道事務所 品川出張所	調査更新年月日	2019年03月31日 2018年11月08日		



点検調査(その6) 損傷写真		径間番号	1	起点側	緯度 35.68424 経度 139.77452	終点側	緯度 35.68384 経度 139.77445	橋梁 I D	35.68424,139.77452
フリガナ 橋梁名	日本橋	路線名	一般国道1号 環道	管轄	関東地方整備局	橋梁コード	0105		
所在地	自 東京都中央区日本橋室町一丁目 至 東京都中央区日本橋一丁目	距離標	自 百米標0.0km + 距離0m 至 百米標0.0km + 距離25m	管轄	東京国道事務所 品川出張所	調査更新年月日	2019年03月31日 2018年11月08日		

写真番号	1	径間番号	1	撮影年月日	2018.11.08	写真番号	2	径間番号	1	撮影年月日	2018.11.08
部材名	アーチ アーチリブ	要素番号	0201	メモ		部材名	アーチ アーチリブ	要素番号	0201	メモ	
損傷の種類	漏水・遊離石灰	損傷程度	e	【今回点検(H25)記載内容】 ⑥漏水・遊離石灰-e(湿潤) 7-F17 に錆汁を伴う遊離石灰(湿潤)が見られる。		損傷の種類	漏水・遊離石灰	損傷程度	e	【今回点検(H25)記載内容】 ⑥漏水・遊離石灰-d	
				【新規損傷】 滲出が継続していると思われる遊離石灰である。						【損傷進行状況】 前回点検時と殆ど変化はなく損傷の進行は見られない。滲出が継続していると思われる遊離石灰である。前回点検時より損傷評価の見直しを行った。	
写真番号	3	径間番号	1	撮影年月日	2018.11.08	写真番号	4	径間番号	1	撮影年月日	2018.11.08
部材名	アーチ アーチリブ	要素番号	0202	メモ		部材名	アーチ アーチリブ	要素番号	0202	メモ	
損傷の種類	ひびわれ	損傷程度	d	【今回点検(H30)記載内容】 ⑥ひびわれ(大小)-d(n'3-2) [W=0.5mm, L=7550mm]		損傷の種類	漏水・遊離石灰	損傷程度	e	【今回点検(H30)記載内容】 ⑥漏水・遊離石灰-e(湿潤) 7-F17 に著しい遊離石灰(湿潤)が見られる。	
				【今回点検(H30)記載内容】 ⑥ひびわれ(大小)-d(n'3-2) [W=0.5mm, L=7550mm] 7-F17 にひびわれが見られる。						【損傷進行状況】 前回点検時と殆ど変化はなく損傷の進行は見られない。	

## 損傷写真

# トンネルのサンプルデータ

■ 基礎情報										トンネルID						
フリガナ 名称		〇〇トンネル		路線名		国道16号		管理者名		〇〇地方整備局		緊急輸送道路		一次		
所在地		自 〇〇県〇市〇1丁目 至 〇〇県〇市〇1丁目		作成者		作成年月日		トンネル延長		L= 100 m		代替路の有無		有		
トンネルの分類		陸上														
起点	緯度	36.***		完成年度	1925		舗装	種別	アスファルト系		施設の 内訳	種別・方式	型式	個数	更新年度	
	経度	139.***		供用年度				厚さ	0.3			通 報 設 備	通話型通報設備			
終点	緯度			トンネル区分	C		排水	面積	715 m <sup>2</sup>		消 火 設 備	操作型通報設備				
	経度			内装種類	タイル張り工法			更新年次				自動通報設備				
一般有料区分				天井板種類	その他(内装あり)		坑 門	種別	U型+暗渠排水		避 難 設 備	非常警報設備				
土かぶり		16.9 m		起点	形式	面壁型		更新年次				消火器				
内空断面積		46.7 m <sup>2</sup>		延長	m		照 明	種別・方式	個数		更新年次	消火栓設備				
交通量		22,949 台/日		終点	形式	面壁型		照明	ナトリウム灯 39		更新年次	誘導表示設備				
幅員	道路幅	7 m		換 気	自然換気											
	車道幅	3.5														
	歩道等幅	2														
	建築限界高	4.5														
高さ	中央高	5.3														
有効高	4.5															

## ■ 点検結果\_トンネル本体工

覆工 スパン 番号	変 状 番 号	距 離 (m)	変状部位		変状の内容				前回定期点検時の状態		今回定期点検結果				措置履歴		対 応 方 針  特 記 事 項
			対象箇所	部位区分	変状区分	変状種類	変状の発生範囲の規模	前回定期点検時との比較	状態	健全性	対策区分		調査の 要否	措置の 要否	実 施	措置の実施状況	
											応急措置前	応急措置後					
S001	1	11	覆工	右アーチ	材質劣化	鉄筋露出		進行が認められない	鉄筋露出	I	-	要	要監視				
S001	2	11	覆工	左アーチ	材質劣化	豆板	0.05m×0.7m	進行が認められない	豆板	I	-	要	要監視				
S001	3	11	覆工	左アーチ	材質劣化	うき		進行が認められない	うき	I	-	要	要監視				
S001	4	11	覆工	右アーチ	材質劣化	うき		進行が認められない	うき	I	-	要	要監視				
S001	5	11	覆工	左アーチ	外力	横断方向のひび割れ、遊離石灰	1.2mm	進行が認められない	ひび割れ、遊離石灰	II b	-	要	要監視			継続監視	
S001	6	11	覆工	右アーチ	材質劣化	うき(無し)		進行が認められない	うき	I	-	要	要監視				
S002	1	21.5	覆工	右アーチ	外力	横断方向のひび割れ、遊離石灰	1.0mm	進行が認められない	ひび割れ、遊離石灰	II b	-	要	要監視			継続監視	
S002	2	21.5	覆工	右アーチ	漏水	漏水(にじみ)		進行が認められない	漏水(にじみ)	II b	-	要	要監視			継続監視	
S002	3	21.5	覆工	左アーチ	材質劣化	表面劣化		新たに発生		I	-	要	要監視				
S003	1	32	覆工	右アーチ	外力	縦断方向のひび割れ、遊離石灰	0.8mm	進行が認められない	ひび割れ、遊離石灰	II b	-	要	要監視			継続監視	
S003	2	32	覆工	左アーチ	漏水	遊離石灰		進行が認められない	遊離石灰	I	-	要	要監視				
S004	1	42.5	覆工	右アーチ	外力	横断方向のひび割れ、遊離石灰	0.8mm	進行が認められない	ひび割れ、遊離石灰	II b	-	要	要監視			継続監視	
S005	1	52.9	覆工	左アーチ	外力	縦断方向のひび割れ、遊離石灰	0.6mm	進行が認められない	ひび割れ、遊離石灰	II b	-	要	要監視			継続監視	
S005	2	52.9	覆工	右アーチ	材質劣化	うき		進行が認められない	うき	I	-	要	要監視				
S006	1	63.4	覆工	左アーチ	外力	縦断方向のひび割れ、遊離石灰	0.8mm	進行が認められない	ひび割れ、遊離石灰	II b	-	要	要監視			継続監視	
S007	1	73.9	覆工	右アーチ	外力	縦断方向のひび割れ、遊離石灰	1.0mm	進行が認められる	ひび割れ、遊離石灰	II b	-	要	要監視			継続監視	
S008	1	84.4	覆工	左アーチ	外力	縦断方向のひび割れ、遊離石灰	0.8mm	進行が認められない	ひび割れ、遊離石灰	II b	-	要	要監視			継続監視	
S009	1	94.8	覆工	左アーチ	外力	縦断方向のひび割れ、遊離石灰	0.6mm	進行が認められない	ひび割れ、遊離石灰	II b	-	要	要監視			継続監視	
S009	2	94.8	覆工	左アーチ	材質劣化	うき	2.0m×0.1m	進行が認められない	うき	II a	-	要	要監視			はく落防止工	
S010	1	100.1	覆工	右アーチ	外力	縦断方向のひび割れ		進行が認められない	ひび割れ	I	-	要	要監視				
S010	2	100.1	覆工	右アーチ	材質劣化	鉄筋露出		進行が認められない	鉄筋露出	I	-	要	要監視				
PE	1	100.1	覆工	坑門	材質劣化	鉄筋露出		進行が認められない	鉄筋露出	I	-	要	要監視				

		道路橋	トンネル	附属物	舗装	土工
合計		39	22	37	29	26
	民間企業	31	16	30	24	21
	財団・社団等	6	5	6	5	5
	大学	2	1	0	0	0
	個人	0	0	1	0	0

## <改良に向けて>

(1) 下記に取り組むとともに「改良計画」の策定に着手

### ①UI・APIの改良／統一

(例)

- ・点検業務においては、対象となる複数施設の情報を事前に把握する必要  
→複数施設の点検様式を一括で取得できる機能・参照用APIを設けてはどうか
- ・損傷写真はAI教師データとして活用可能  
→一度に大量の画像データ及びその属性情報を提供できるAPIを設けてはどうか

### ②多様な点検データ（新技術）への対応（後述）

### ③データ標準化

xROAD全体で／点検DBで標準化すべきデータ項目の抽出に着手

等

## <活用促進に向けて>

- (1) 業務効率化・高度化に資するアプリケーション開発・公開に着手 (後述)
- (2) データチャレンジへ参加 (後述)
- (3) 他システム・DBとの連携
  - ・ DRM
  - ・ 国土交通データプラットフォーム
  - ・ 電子納品保管管理システム
  - ・ 他の道路管理者のDB 等



○ 点検・診断における新技術やそこから生成される多様なデータへ対応するための改良を予定

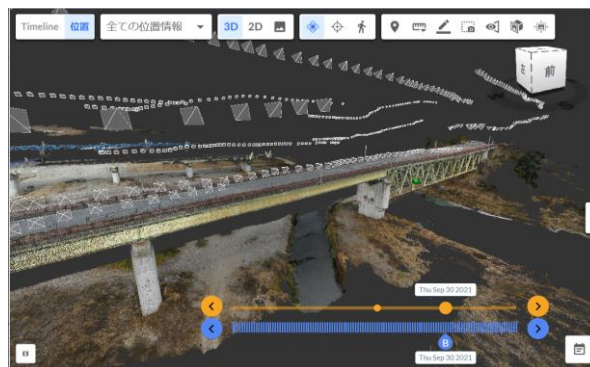
点検画像を3次元モデルで管理するソフトウェアの例

※土木研究所共同研究資料より

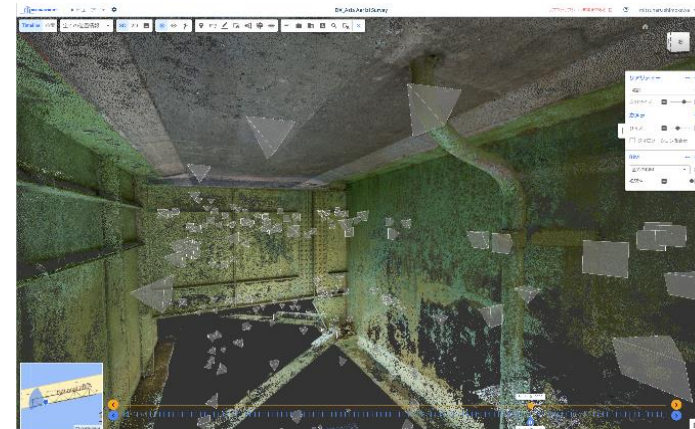
## 撮影画像アップロード



クラウドサーバー



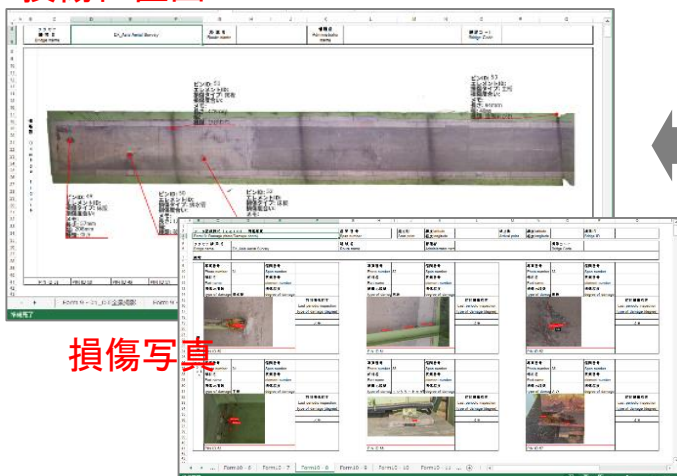
SfM処理 (橋梁全景)



SfM処理 (橋梁内側)

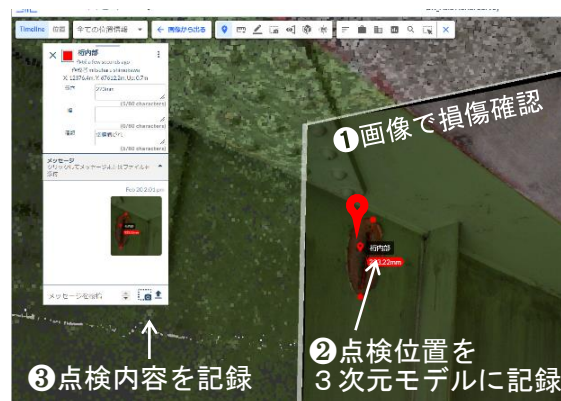


## 損傷位置図

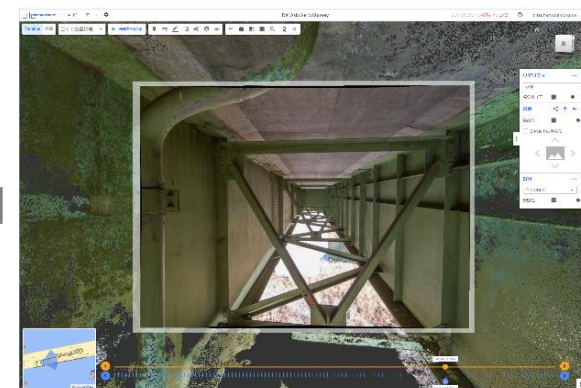


損傷写真

点検調書への自動出力



損傷位置と調査結果の記録

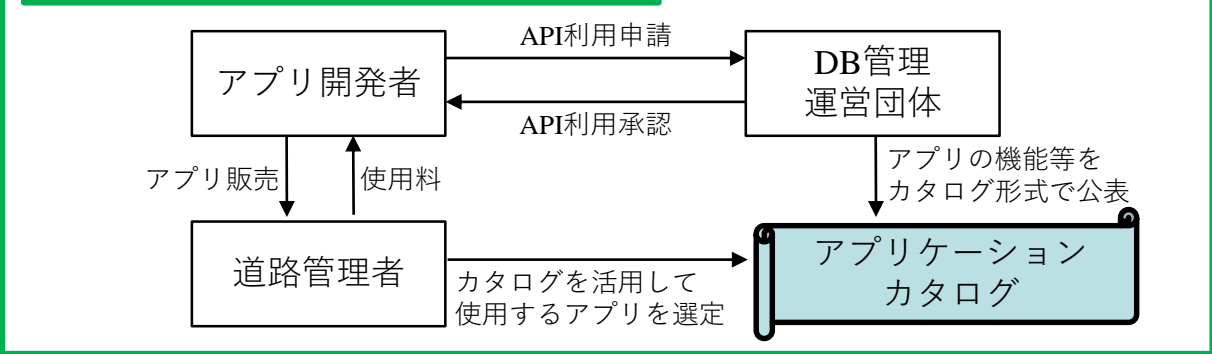


画像と3次元点群を重ねて表示



- 全国道路施設点検DBは、全国の道路施設の諸元・点検結果等を一元的に収集するシステム
- 効率的な道路の維持管理のためには、民間開発のアプリケーションとDBを一体で活用することが必要
- 道路管理者でのアプリケーションの活用を促進するため、DB管理運営団体がアプリケーションの機能等を取りまとめ、カタログ形式で公表

### 【アプリケーション活用の流れ】

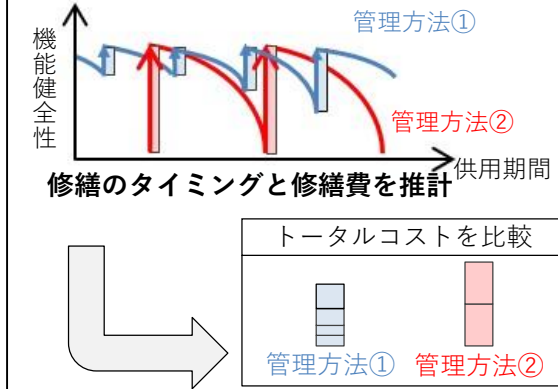


### 【期待される導入場面の例】

#### ～点検結果を効率的に入出力～



#### ～維持修繕計画の最適化～



### ～健全性の診断を支援～





○ 開発したアプリケーションは、ソースコードも含めxROADのポータルサイト（構築中※）等で公開予定

※公開時期は未定



xROADポータルサイトイメージ

○ 点検データ活用のきっかけを創出すると共に広くアイデアを集めるため、インフラデータチャレンジ※に参画

- ・ 特別賞を設置
- ・ 新潟市、岐阜市、熊本市内のデータを提供

※2018年から土木学会が行っているもの。2019年からは（一社）社会基盤情報流通推進協議会（AIGID）が行っているアーバンデータチャレンジと共同開催

○ 道路のMMS点群データ、業務・工事成果等も合わせて提供

## 特別賞

特別賞に挑戦しよう！

### 国土交通データチャレンジ特別賞



**特別賞の設置主体**：国土交通省  
**賞の件数**：3件程度  
**特別賞の受賞対象となる作品条件**：  
・応募された作品の中から、国土交通省が提供するデータを主要な部分に利用した作品であること  
※岐阜市、新潟市、熊本市内の下記のデータ  
①全国道道路施設検索データベースのデータ  
②MMSで取得した道路点群データ  
③道路工事・業務の成果品データ  
④洪水想定区域  
・作品エントリーに関しては、データセット名に国土交通省から提供したどのデータを利用したかが特記すること  
・インフラの設計から維持管理までの効率化や高度化に寄与するものを高く評価する  
(参考) [道路行政の技術開発ニュース](https://www.mlit.go.jp/road/tech/06000/index.html)：<https://www.mlit.go.jp/road/tech/06000/index.html>  
**副賞の内容**：賞の額面、国土交通省HP等における紹介  
**特別賞の賞金**：国土交通省が選出

詳細について

### 限定公開データの利用について

本チャレンジで利用する限定公開データは、規約同意の上申請完了の後、[0空間情報センター](#)からダウンロードが可能です。  
インフラデータチャレンジの限定データの利用を希望する方は、以下の手順で利用申請を行ってください。  
**手順1**：0空間情報センターを初めて利用する方は、[こちらの新規ユーザー登録](#)からユーザーアカウントを事前に作成してください（無料）。  
**手順2**：以下の申請フォームのボタンから、申請を行ってください。申請には、0空間情報センターのユーザーアカウントが必要です。  
申請後の手続き処理のため、申請から利用まで2営業日程度かかる場合がございます。

[限定公開データ利用したて要規約](#)

利用規約に同意して、限定公開データの利用を申請する



<https://urbandata-challenge.jp/idc2022>